

平成27年5月12日

お 知 ら せ

件 名	「わが村は美しくー北海道」運動 大賞審査スタート！！ ー第7回コンクール大賞審査委員会第1回委員会を開催ー
-----	--

お知らせ内容

北海道開発局では、道内各地での住民主体の地域活性化活動を支援し、農山漁村の発展に寄与することを目的に、「わが村は美しくー北海道」運動を推進しており、この運動の一環としてコンクールを開催しています。

現在、第7回のコンクールを開催しており、平成27年3月までに優秀賞14団体の表彰を行ったところです。

このたび、優秀賞表彰団体の中から大賞表彰候補団体の選考を行う大賞審査委員会の第1回委員会を下記のとおり開催します。

詳しくは、別紙を御覧ください。

記

1日 時 平成27年5月18日（月） 15:00～17:00

2場 所 札幌第1合同庁舎地下1階 共用会議室（南側）
（札幌市北区北8条西2丁目）

3その他 審査選考過程のため、傍聴、撮影については冒頭挨拶までとさせていただきます。なお、表彰団体決定後に選考理由をホームページ等で公表する予定です。

※下記アドレスにアクセスいただくと、各種情報を御覧になれます。

http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_nogyo/wagamura/index.html

問	所 属	役 職 名	氏 名	電 話 番 号
合	北海道開発局 農業振興課	課長補佐	長谷川 元司	011-709-2311 内線5683
せ	北海道開発局 農業振興課	農村地域振興 第2係長	佐藤 麻衣子	011-709-2311 内線5685
先				

平成27年5月12日
北海道開発局

「わが村は美しくー北海道」運動 第7回コンクール大賞審査委員会 第1回委員会の開催について

5月18日（月）に「わが村は美しくー北海道」運動第7回コンクール大賞審査委員会第1回委員会を開催します。

1 コンクールの開催について

北海道開発局では、道内各地の住民主体の地域活性化活動を支援し、農山漁村地域の発展に寄与することを目的に、平成13年から「わが村は美しくー北海道」運動を推進しており、この運動の一環としてコンクールを開催しています。

コンクールには、これまで全道163の市町村から1,025団体の応募があり、延べ197団体を表彰しています。

2 大賞審査委員会第1回委員会の開催について

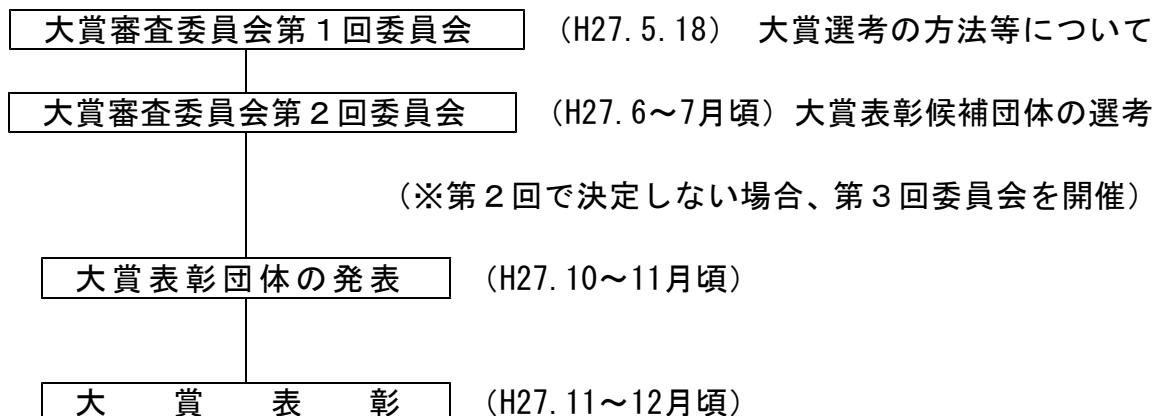
第7回コンクールには、全道から99団体の応募があり、本年3月までに優秀賞14団体及び奨励賞30団体を表彰したところです。

コンクール2年目となる本年度は、大賞の表彰を行うこととし、表彰候補団体の選考を行う大賞審査委員会の第1回委員会を下記のとおり開催します。

記

- 日時 平成27年5月18日（月） 15:00～17:00
○場所 札幌第1合同庁舎地下1階 共用会議室（南側）
（札幌市北区北8条西2丁目）
○議事 ・委員長選出
・大賞選考の方法について ほか

○大賞審査スケジュール



「わが村は美しくー北海道」運動第7回コンクール大賞審査委員会 委員名簿

(五十音順 敬称略)

ありやま ただお
有山 忠男

株式会社ライヴ環境計画 代表取締役社長

NPO法人ガーデンアイランド北海道 事務局長

くろかわ いさお
黒河 功

一般社団法人北海道地域農業研究所 所長

なかい かずこ
中井 和子

中井景観デザイン研究室 代表

NPO法人「わが村は美しくー北海道」ネットワーク 理事長

なかじま のりひろ
中島 則裕

生活協同組合コープさっぽろ 専務理事

はらだ あき
原田 亜紀

株式会社JTB MICE・ソリューション営業課

まえやま けいじ
前山 啓二

北海道土地改良事業団体連合会 専務理事

優 秀 賞 表 彰 団 体 一 覧

ブロック	市町村	選考結果	団体名	活動概要
札幌	新篠津村	優秀賞	新篠津村・農業観光生産者協議会	新篠津村の安全かつ良質な農産物・加工品を観光資源と活用して、特産品の開発、農産物のPRの他、農家の畑へと出向き農家と一緒に収穫を行う農業体験を通じて、農業の楽しさ、必要性、食の尊さを伝えると共に、公的機関や民間団体との協働により観光誘致に努めている。
札幌	岩見沢市	優秀賞	豊正FAM協議会 ふれあい室	岩見沢市北村地域では、水稲の直播栽培の普及により遊休化したハウスを活用して、北海道では珍しい落花生の栽培が行われている。豊正FAM協議会ふれあい室では、落花生を通じ消費者と交流するため「落花生まつり」や「落花生オーナー制」を実施。その他、「フットパス交流会」等により都市と農村の交流に取り組んでいる。
函館	森町	優秀賞	温泉市	地域の生産物の評価や認知度を高めるため、5月～6月の毎週日曜日に会員の倉庫で地元濁川産のトマトや野菜の直売を行っている。また、同地域にある温泉旅館と協力し、地域のPR活動も合わせておこなっている。さらに、トマトの加工販売を行い、6次産業化の取り組みや漁業関係者とも連携を図り、地域の活性化に努めている。
小樽	積丹町	優秀賞	美国・美しい海づくり協議会	当協議会は、地元漁業者とレジャーダイバーなどで構成されている。日本海側で問題となっている磯焼け対策として、食害ウニの除去作業等の藻場保全活動を中心に、観光客向けのウニむきツアールの開催、町内外の子ども達を対象としたシュノーケリング体験などを実施し、観光業との連携や後継世代に向けた地域振興に取り組んでいる。
小樽	倶知安町	優秀賞	北海道倶知安農業高等学校	町の特産であるじゃがいもの規格外品を有効活用することを目標に、町内の企業等と連携しポテトペーストを使った「NISEKO MONTE BAR」の開発・販売を行った。またポテトサイレージで育成した牛を使ったハンバーグの加工・販売、牛の皮による硬式野球用グローブの製作などにも取り組んでいる。
旭川	剣淵町	優秀賞	絵本のりけんぶち VIVAマルシェ	自ら栽培した農産物を軽トラックに積み、道内各地を移動し対面販売を行っている。対面販売で得た要望を野菜作りに反映し、選ばれる生産者を目指す。また、新たな特産品を生み出すため、レンズ豆やヒヨコ豆、キヌアなど国内で栽培が困難とされる作物を取り入れ、栽培技術の向上を図っている。
室蘭	登別市	優秀賞	特定非営利活動法人 ゆめみーる	弱者(高齢者、障害者、子ども)が「その人らしく」自立した生活を送り、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指す活動を行っている。高齢者等の弱者の居場所として地域食堂の運営や朝市の開催による買い物支援、子供の健全な育成を目的とした放課後子供教室やゆめみーる農園での野菜づくりによる食育活動などに取り組んでいる。
釧路	根室市	優秀賞	落石地区マリンビジョン協議会	落石漁港を中心とした地域振興・コミュニティの活性化及び落石産水産物の消費拡大・ブランド化等の付加価値向上、地産地消による域内活性化等を図ることを協議会の目的としている。活動は、地域ブランドの確立・浸透、フットパスの整備、マリンクルーズなど多岐にわたり精力的に展開している。
帯広	中札内村	優秀賞	十勝中札内ファーム街道委員会	中札内村内の観光、農産物直売所、ファームレストランや宿泊施設等、農業に関わる技術や生活文化を「街道」という結びつきによって地域活性化を図る活動を行っている。6次産業農園やサイクリングツーリズムを取り入れ農業・食・農村・観光を融合させた、「十勝中札内グルメファンド」を企画した。
帯広	広尾町	優秀賞	ピロロフェス実行委員会	1次産業と食・音楽・雑貨販売を融合させた委員会。一次産業(農(農業)・林(林業)・漁(漁業))の大切さを再確認・再発見することをモットーとして親子で体験できる参加型イベントを実施している。昨年は「農業」、今年は「林業」をテーマとしてイベントを開催した。
網走	小清水町	優秀賞	これぞ小清水!! 実行委員会	地場産素材を活かした料理を提供する「小清水屋台村」を開催し、各郷土料理「でんぶんだんご」にちなんで企画運営を行うほか、地元飲食店と連携し「でんぶんだんご」のご当地グルメ化に取り組み、普及活動を実施。町内外イベントでの販売や、ゆるキャラ「でん坊」を製作し、地域・観光PRなどを行っている。
網走	佐呂間町	優秀賞	さろまシンデレラ夢実行委員会	町の特産物であるカボチャをテーマに祭りを開催している。祭りでは、巨大カボチャを町中に展示し、「夢パレード」や「パンプキンコンテスト」など心に残る祭りを行っている。また、毎年、全国の応募者全員にジャンボカボチャの種を無料配布し、カボチャを通して「育てる喜び」を全国に届けるとともに、ジャンボカボチャの聖地「さろま」をPRしている。
留萌	天塩町	優秀賞	民安ダム「サクラの森づくり」の会	国営かんがい排水事業「天塩沿岸地区」で建設した民安ダムのダム湖周辺に桜を植樹し管理もを行っている。森林の持つ重要性和水の大切さを教え、「サクラの森づくり」を次世代に引き継ぎ、町民の憩いの場として末永く親しめるよう取り組んでおり、地元中学校の総合学習の場としても活用されている。
稚内	豊富町	優秀賞	農村生活文化伝承活動をすすめる会	農家の知恵を後世につなげるため団体を設立した。毎年、農村生活文化伝承展を開催し、地域の農村生活の食を中心とした特性を次世代へ伝承する活動の実施など、地域の主要農産物である牛乳や農産物を加工する実演を通じ食文化の発信や消費者交流に積極的に取り組んでいる。